

第4回

(仮称) 小牧市第3老人福祉センター建設検討委員会

議事録要旨

- ・開催日時：平成31年3月4日(月)10:00~
- ・開催場所：市役所4階 402会議室

所属	役職	氏名	出欠
小牧市区長会連合会に属する者	連合会長	小柳 松夫	○
小牧市地区民生委員・児童委員連絡協議会に属する者	味岡地区副会長	今村 究	○
小牧市老人クラブ連合会に属する者	小牧西部地区会長	児玉 豊	○
市民団体に属する者	小牧市女性の会会長	酒井 美代子	欠
社会福祉法人小牧市社会福祉協議会に属する者	局長	松岡 和宏	○
市内の地域包括支援センターに属する者	味岡地域包括支援センター管理者	小林 永尚	○
小牧市老人福祉センターの指定管理者	「野口の郷」所長	稲垣 周二	○
学識経験者	名古屋経済大学 副学長	中村 昭典	○
市内に在住する者で、老人福祉センターに関心のあるもの		桑山 美知代	○
市内に在住する者で、老人福祉センターに関心のあるもの		中村 豊子	○

《事務局》健康福祉部(伊藤次長)、
長寿・障がい福祉課(山本課長、白木係長、鈴木主査、徳田主事)
株式会社オオバ(丸山、木村、竹内)

《傍聴者》なし

《配布資料》

- ・次第
- ・資料-1：スケジュール(A4/1枚)
- ・資料-2：第3回建設検討委員会議事要旨(A4/6枚)

1 あいさつ

○事務局：白木

- ・本日はお忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。これより、第4回（仮称）小牧市第3老人福祉センター建設検討委員会（以下、「本委員会」という。）を開会いたします。会の開催に先立ちまして、小柳委員長よりご挨拶をいただきたいと思います。



○小柳委員長

- ・皆様、おはようございます。お忙しい年度末にお集まりいただき、心から感謝いたします。
- ・第1回建設検討委員会が10月に開催されてからこれまで3回の委員会の中で、委員の皆様におかれましては、熱心なご意見及びご議論をいただき、誠にありがとうございます。
- ・今年度の建設検討委員会はこの第4回で最後となりますので、皆様から積極的にご意見をいただき、計画内容をまとめあげていきたいと思っておりますので、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

○事務局：白木

- ・小柳委員長、ありがとうございました。
- ・本日は、酒井委員より欠席の連絡をいただいておりますので、出席委員は9名となります。
- ・それでは、お手元の資料を確認させていただきます。
- ・また、今年の1月上旬に郵送させていただきました計画書はお手元にありますか。もしなければ、事務局にて予備をご用意しておりますので、お知らせください。

(配布資料 確認)

- ・本委員会は、小牧市審議会等の会議の公開に関する指針第3条の規定に基づき、個人に関する情報や法人、その他の団体に関する情報を除き公開とさせていただきます。なお、本委員会議事録につきましては、情報公開コーナー及び本市ホームページにて公開させていただきます。
- ・本日の傍聴者は0人であります。
- ・それでは、小柳委員長に議事の進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○小柳委員長

- ・それでは、次第に沿って進めさせていただきます。本日のテーマは【基本構想・基本計画のまとめ】です。まず、議題（1）「パブリックコメントの総括」について、事務局より説明をお願いいたします。

2 議事

【基本構想・基本計画のまとめ】（1）パブリックコメントの総括

○事務局：山本

- ・それでは、パブリックコメントの総括について、ご説明をいたします。
- ・平成31年1月15日（火）から平成31年2月13日（水）の期間において、パブリックコメントを実施いたしました。小牧市ホームページをはじめ、小牧市役所長寿・障がい福祉課及び情報公開コーナー、市内各支所、小牧駅にあります都市センター、ふらっとみなみ、ゆう友せいぶ、野口の郷、小針の郷を閲覧場所として意見の募集を行いました。期間内に寄せられた意見はありませんでした。
- ・以上で、事務局からの説明を終わります。よろしくお願いいたします。

○小柳委員長

- ・パブリックコメントの実施結果については、事務局からご説明をいただいたような状況になります。
- ・続いて、議題（2）「計画書（案）のまとめ」について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局：山本

- ・先程も申し上げました通り、パブリックコメントでの意見は寄せられませんでしたので、（仮称）第3老人福祉センター基本構想・基本計画につきましては、今年の1月上旬に委員の皆様へ送付させていただきました計画書（案）を最終の計画書として手続きを進めさせていただきたいと思っております。
- ・ここで、計画書について、第3回委員会から修正した箇所がございますので、ご説明をさせていただきます。お手元に計画書をご準備ください。
- ・4-1頁の基本コンセプトについて、「地域の“元気”をつなぐサードプレイス」との記載をしておりますが、サードプレイスという言葉が分かりにくいというご意見をいただきましたので、これを補足するために「心地良く過ごせる第三の場所」という副題を追記いたしました。また、サードプレイスという言葉は、※印の注釈に記載をしている通り、自宅や職場、学校でもない、その人にとって心地良く時間を過ごせる場所という意味が込められていますので、その意味を端的に表現しています。
- ・次に5-1頁の施設機能について、今回新たに建設する（仮称）第3老人福祉センターには、既存の老人福祉センター2施設にはない機能である「にぎわいゾーン」を導入することとしています。従いまして、導入する施設機能において「にぎわいゾーン」が新たに導入する機能であることが分かるよう、施設機能の一覧表のレイアウトを変更しました。
- ・5-2頁の施設機能のゾーニングについて、図で示したように定めるものの、ご意見がありました通り、諸室の用途を限定しませんので、「ただし、施設の運用面においてはゾーニングに捉われず、利用形態に合わせた工夫を凝らします。」と追記をさせていただきました。
- ・最後に、8-1頁の事業スケジュールについて、月単位で記載されていた表記を年度単位の表記に修正いたしました。また、道路設計や道路工事の項目についても追加いたしました。
- ・前回の委員会以降で皆様のご意見を踏まえ、事務局にて修正した箇所の説明は以上になります。
- ・この計画書をもって、（仮称）第3老人福祉センター基本構想・基本計画の策定とさせていただきます。

○中村豊子委員

- ・8-1頁の事業スケジュールについてご説明をいただいた中で、建設工事が平成34年度に終わるとのことでしたが、施設のオープン予定はいつ頃になるのでしょうか。

○事務局：山本

- ・事業スケジュール表の中で、建設工事が平成34年度の少し前に終わるように示しておりますが、ここに至るまでに様々な手続き等があります。あくまでそれらが順調にいったという想定でスケジュールを組んでおりますので、この予定通りでいきますと、平成34年度内にオープンできるよう進めていきたいと考えています。

○松岡委員

- ・これまでの委員会の中で、委員の皆さんから様々な意見が出てきました。それらの意見の中で反映させられるものについては、計画書に盛り込んでいただいておりますので、これで良いと思います。

○児玉委員

- ・新しく整備された野口の郷について、脱衣所が狭くて対応できかねているという意見が出ていますと聞いていますが、その点については、今回の計画の中で反映されているのでしょうか。反映していただければ、ありがたいと思っています。
- ・また、先程オープン予定の話が出ていましたが、これから建設するとなると、実際にオープンするのは、平成35年度もしくは平成36年度くらいになるのでしょうか。

○事務局：山本

- ・浴室などの細かな部分に関しては、基本計画の段階で検討はしていませんので、いただいたご意見を念頭において、今後詰めていきたいと考えています。
- ・また、オープン予定については、平成34年度中にオープンできるよう進めていく予定です。

○今村委員

- ・今回の計画書のまとめに至るまで、色々のご意見をさせていただきましたが、この内容で良いかと思います。今回、委員の皆さんが発言したご意見をこれからの設計の中で、十分に活かしていただきたいと思います。

○桑山委員

- ・皆さんからの貴重なご意見をお聞きしながら、計画書をまとめてきましたので、平成34年度の完成を待ちたいと思います。
- ・今回、せっかく中村昭典先生から、世代間の交流といった提案をいただきましたので、そういったスペースを活用して、この場所がまた来たいと思える場所になると良いと思います。
- ・年齢を重ねると家にこもりがちになり、心も体も弱ってくるかと思しますので、ハード面での整備は別として、ソフト面は一人一人が考えて取組んでいかなければならないと思いました。

○中村昭典委員

- ・この委員会に大学で仕事をする者として加えていただきましたが、役割を果たせたかどうか少し疑問に思っています。ただ、にぎわいゾーンを中心に既存施設にはない新たなゾーンも加えていただきましたので、計画書をまとめるまでがこの委員会の役割かもしれませんが、大切なのはこの先の運用面において、この機能を導入して良かったとなることが大事だと思いますので、その段階に至っても大学として協力できることを考えていきたいと思っています。

○稲垣委員

- ・施設を管理運営させていただいている立場から発言をさせていただきます。
- ・現在、2箇所の老人福祉センターを運営させていただいていますが、それぞれの良い部分と課題となる部分もあるかと思います。そういったところを反映したような形で、今後新しい施設の建築に向けて進めていただければと思います。可能であれば、シンプルで維持管理しやすいような施設になることが理想だと思います。

○小林委員

- ・計画書に関して、これまでの皆さんのご意見が反映されている内容になっていると思います。基本コンセプトにもあるサードプレイスというものが、実際の地域の皆様にもそう感じていただけるように運用面で今後検討していただければと思います。

○中村豊子委員

- ・2-22頁について、利用者が平成22年度をピークに少し減少傾向になっていますが、これは年齢構成からこのようになっているなどの原因があるのでしょうか。また、この先の推移としてどうなるのでしょうか。
- ・また、2-23頁に人気の高い機能として健康増進があり、スポーツなどの講座が色々ありますが、こういったものは専任のインストラクターの方を講師としているのでしょうか。それとも利用者の能力を利用して、どなたかが講師をやられているのでしょうか。

○稲垣委員

- ・これは平成29年度までの統計になっておりますが、私どもが運営させていただいている野口の郷に関して言えば、ピークから若干減少しているものの、ほぼ横ばいです。この要因の一つとしては立地的な問題があり、車でお越しになる方が非常に多いという問題があります。巡回バスを平成30年度から本数を増やしていただいで回復してきたということもあるかと思いますが、交通の便という点が一番大きな要因であると思います。また、建設中であったため、駐車場が少なかったということもあるかと思います。

○事務局：山本

- ・先程、稲垣委員からのご発言にありましたが、特別大きな要因があつて減少したということではないと考えています。巡回バスも増便し、高齢者数も増加してきていますので、利用者は今後増えていくと思いますが、現状としてはこの数値で推移しているということです。

議事概要

○事務局：山本

- ・講師につきましては、専門の講師をお願いする場合がありますし、市の保健センターから筋力づくりなどの講座でお願いするなど、メニューによって講師をお願いする形を取っています。

○稲垣委員

- ・施設の利用者の方が講師になっている方もいらっしゃいます。

○児玉委員

- ・利用者の減少に関して、私どものクラブも数年前までは毎月15, 16人程度利用していましたが、だんだん年齢と共に、バス停まで歩いて来られないという方も増えてきて、今はもう誰も利用していないという状態です。他所のクラブに関しても、バス1台に乗りきらないという状態から、だんだん少なくなってきているのが現状としてあります。そのため、これから年齢と共に利用者が減っていくのではないかと気がしています。

○桑山委員

- ・老人福祉センターでどのような講座が開かれているか、日時などの情報を広報誌に掲載した方が良いと思います。直接行かなければ分からないというのでは困ると思いますので、ネット経由ではなく、市民が一番手に取る広報誌の中に掲載できればと思いました。例えば、英会話は何曜日の何時にある、ヨガはこういうものを開催していますなどの情報が月に一回でも周知されていると、来月は行ってみようという気持ちになる人が増えるのではないかと思います。

○事務局：山本

- ・指定管理者と情報を共有しながら、広報誌にも掲載できるよう検討していきたいと思います。

○小柳委員長

- ・ありがとうございます。皆様からいただいたご意見が今回の基本構想・基本計画の中に込められているとご理解をいただければと思います。
- ・児玉委員のお話にもありましたが、元気だった人が年齢を重ね、老人福祉センターから違う施設に移る方も随分増えてきていると思います。しかし、第1、第2老人福祉センターのようにまだまだ多くの高齢者が利用する素晴らしい施設がありますので、今回新たに建設される第3老人福祉センターについても、今後設計を進める中で、使っていただく身になって検討していただきたいと思います。
- ・現代はまさに人生百年時代と言われていきますので、立派な施設を整備し、高齢者のみならず、小牧市には立派な福祉体制があると市民が誇れるようにしていただきたいと思います。
- ・これにて次第2の議事を終了とします。最後に、次第3その他について、事務局から連絡事項等あれば、お願いします。

3 その他

○事務局：伊藤次長

- ・皆様、今年度4回に渡り（仮称）第3老人福祉センター建設検討委員会にご出席いただき、またご意見を賜りましたこと、誠にありがとうございます。皆様の協力がありまして、第3老人福祉センターの基本構想・基本計画を策定することが出来ました。委員会の中でいただきましたご意見につきましては、今後の建築設計ならびに施設運用においても、活かしていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

○事務局：白木

- ・それでは、今後の予定についてお知らせいたします。
- ・計画書の8-1頁にあります事業スケジュールをご覧ください。2019年度においては、老人福祉センター敷地内の測量や用地の履歴調査、地質調査等を行います。また、2020年度に予定している事業認定図書を愛知県に申請するために必要な各種調査についても、実施します。
- ・また、敷地一体の造成工事を行うための設計、敷地内の道路工事のための設計、さらには建築工事のための建築基本設計業務を予定しています。

議事概要

○事務局：白木

- ・こちらの建築基本設計業務を進めるにあたり、建設検討委員会を開催し、委員の皆様のご協力を賜りたいと考えています。時期はまだ確定はしておりませんが、来年度の12月頃から翌3月頃にかけて計3回を予定しております。開催時期が決定しましたら、時間に余裕を持って委員の皆様方へ通知をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。
- ・なお、2020年度以降の予定については、道路工事、造成工事、建築工事を順次進め、2022年度（平成34年度）の竣工を目指します。以上で連絡事項についての説明を終わります。

○小柳委員長

- ・それでは、これもちまして第4回（仮称）小牧市第3老人福祉センター建設検討委員会を閉会いたします。皆様、ご協力いただきましてありがとうございました。

以 上